

祝！鶴屋橋全面開通

横浜駅きた西口と神奈川区鶴屋町を結ぶ鶴屋橋の架替工事は、平成 26 年 5 月の着工以来、着々と工事を進めてきましたが、今年 9 月には車道部及び取付部分の舗装工事等すべての本体工事が完了し、9 月 29 日に全面開通となりました。

開通当日は、前日の大雨警報が嘘のようなすっきりとした秋晴れの中、地元、行政を初め多くの関係者が出席し華々しく開通記念式典が催されました。式典では中島局長による工事経過報告の後、テープカットや渡り初めが執り行われ、午前 11 時 20 分から一般車両への供用が開始されました。



(上段) テープカットセレモニー

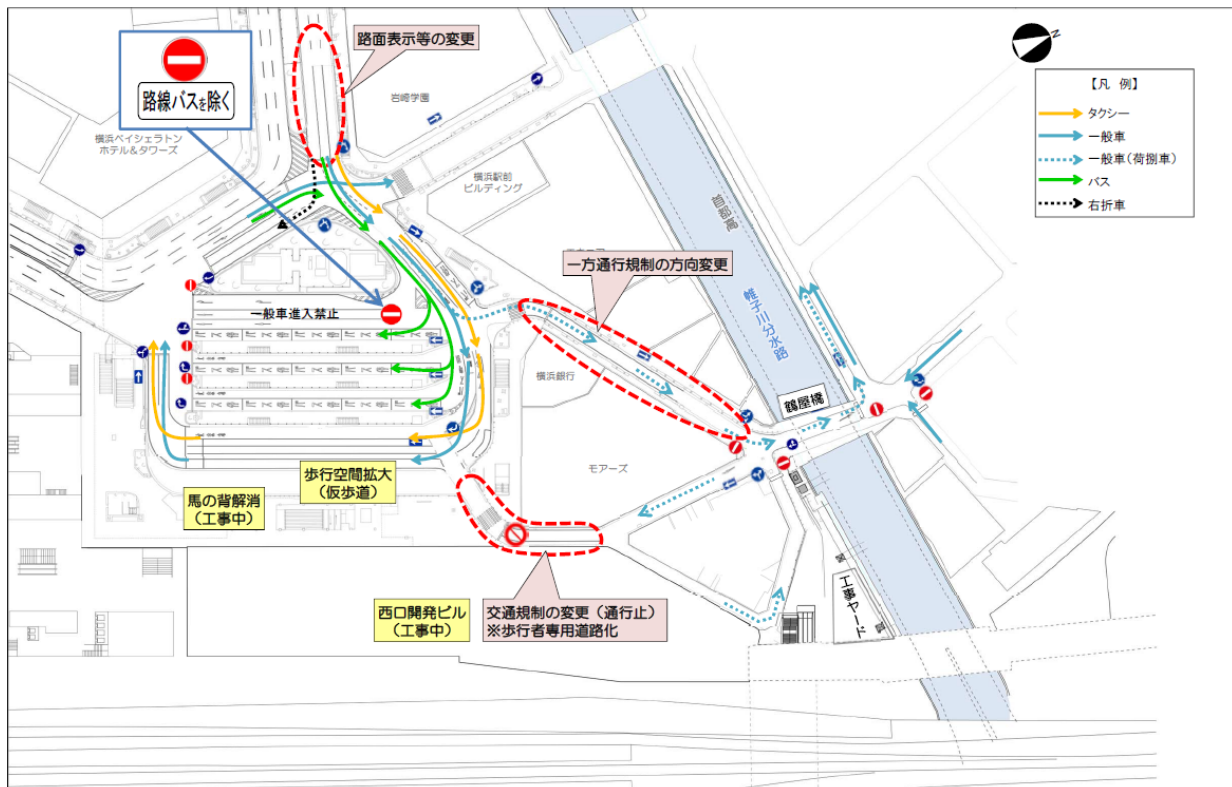
(下段左) 中島局長による工事経過報告 / (下段中) 西土木パト車先導の渡り初め / (下段右) 供用後

西口駅前広場の交通規制変更

鶴屋橋の開通に合わせ、横浜駅西口駅前の交通規制が変更となりました。

鶴屋橋は従来、鶴屋町から西口方向への一方通行でしたが、今回の開通に伴い西口から鶴屋町方向への一方通行に変更されました。

この変更に伴う作業のうち、路面標示や道路標識の架け換え等の工事を西土木事務所が担当しています。現場は西口の繁華街であるため地下街や周辺事業所等への影響を最大限に考慮し、騒音、振動を伴う作業は夜間の数時間に限られるものでしたが、事業主体である都市整備局や交通管理者等と連携し、鶴屋橋開通までに完成させることができました。



今回の交通規制変更に伴い、西口からモアーズ横の狸小路までの区間が車両通行止めとなりました。

今後は、西口駅前広場の整備に合わせ、歩行者専用道路として整備される予定です。



横浜駅みなみ西口駅前環境改善

横浜駅みなみ西口は、ごみやたばこの吸い殻が散乱するとともに、喫煙所の外で喫煙する人も多く、横浜の玄関口としてふさわしい状況とは言えませんでした。

この環境を改善するべく、平成28年12月の喫煙所再整備に続き、今年度は周辺の植栽帯を中心とした再整備を行っています。

現場は9月中旬に着手しており、今後は11月中旬から1月中旬までイルミネーションイベントのため一旦休工となりますが、一帯の雰囲気明るくし、気持ちよく利用していただけるよう、年度末まで整備を進めていきます。



植栽帯は従来の直線形から柔らかいイメージの曲線形に変更されます

老松中職業体験

西土木事務所では毎年、職業体験の一環として老松中学校の生徒を受け入れています。今年は9月中旬に3日間、2名の生徒が土木事務所の多岐にわたる業務を体験しました。

道路係では、4月に社会人採用で配属された渡邊さんが、とある陳情現場で、「安全な歩行空間を確保するにはポストコーンをどのように設置したらよいか」について、生徒も一緒に考えながら実際の設置位置を決定しました。



西土木事務所
所長 菊地 健次
副所長 西岡 毅

管理係 7名
道路係 7名
下水道・公園係 7名
整備班 10名
業務員 2名

(西区諸データ)

人口 98,699 人
区域面積 6.98 km²
管理道路延長 129,446 m
橋梁 58 橋
下水道普及率 100 %
公園 51 箇所